



④2020年に竣工した泉州プラント、⑤国内屈指の処理能力を持つ泉州プラントの設備

**環境へ配慮しつつ事業を拡大**

同社は2006年にISO14001認証、24年にはエコアクション21を取得。産廃業界の特徴として、環境への配慮は欠かせないと言います。また、災害発生時には真っ先に現地に赴き、復旧活動に従事する役割を担っています。今後も汚水、排水を処理して汚水、排水を処理）を泉州プラントに完成させます。

**計画的な採用と社員教育**

採用活動ではホームページとハローワークを活用し、取引先や社員からの紹介を通じた採用も行っており、将来の事業展開を見据えて余裕を持って人材を

会社概要	
創立:	1965年
社員数:	71名（子会社含む）
事業内容:	産業廃棄物の収集運搬、中間処理、土木建設工事、金属リサイクル
URL:	<a href="https://www.kansai-cc.com/">https://www.kansai-cc.com/</a>



A4判。全70ページ、オールカラー。1,100円（税込）

お求めはご所属の同友会事務局まで

**創業から現在までの歩み**

関西クリアセンター㈱は1965年に伊山氏の曾祖父が創立した「伊山商店」を前身とする産業廃棄物処理業者です。創業当初は糸くずの回収を主力事業としていましたが、祖父が引き継いだ後、金属くずの回収に軸足を移しました。

1999年に成立したダイオキシン対策特別措置法により、同社の金属処理用の焼却炉の運用が困難となり、新たに汚泥処理を主力

事業とする決定。社員数は当初の2~3名から、汚泥処理事業の本格化に伴い20名へと増加しました。2020年には国内屈指の処理能力を誇る泉州プラントを竣工し、現在では約70名の社員を雇用するまでに成長しています。

**同友会での学びを自社の組織づくりに生かす**

後継者として入社した伊山氏は、当初、社員との関係が悪化し、社員の約半数が退社するという事態に直面。財政状態も厳しく、債務超過が懸念される状況でした。同社の会計顧問から経営の勉強をしたほうがいいと言われ、ネット検索で見つけた同友会に入会。支部で増強委員を経て支部長を務める中で、「社員よりも会員と意見を調整する方が難しく、そこで学んだ納得感のある合意形成のやり方を自社に活用することができた」と語ります。また、同時に指針セミナー

を受講したり、会員から経営実践を聞いたりすることで経営の学びを深めることができました。

連載「わが社のSDGs」では、經營理念をもとにSDGsに取り組む企業の事例を紹介します。第21回は、関西クリアセンター㈱（伊山雄太専務取締役、大阪同友会会員）の取り組みです。



## 革新を続ける経営で持続可能な企業へ

関西クリアセンター㈱ 専務取締役 伊山 雄太氏（大阪）



汚泥・燃え殻・ばいじんを処理する堺本社工場

る予定です。水道局並みの設備を備えており、災害時には社員に水を提供することができるよう整備しています。

### DX推進で業務改善

#### 今後の展望

社員教育では、決算書の読み方を学べるマネジメントゲームを導入しており、原価計算は部署ごとに社員が行っています。半年に一度の面談ではそれぞれの要望を聞き、社員が学びたいことを実現する体制を整えています。

トナム人社員を7名採用しており、中には日本人幹部と同等の待遇の社員もいます。

社員教育では、決算書の読み方を学べるマネジメント

ゲームを導入しており、原価計算は部署ごとに社員

が行っています。半年に一

度の面談ではそれぞれの要

望を聞き、社員が学びたい

ことを実現する体制を整えています。

## 中小企業憲章・条例の手引き

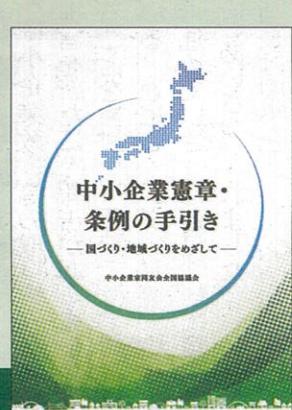
### 国づくり・地域づくりをめざして

憲章条例運動の20年の歴史を振り返り、原点や意義を確認するとともに、さらなる運動推進に役立つよう具体的な方法や事例を紹介。

第1部 中小企業憲章編

第2部 中小企業・小規模企業振興基本条例、地域づくり編

第3部 資料編



A4判75ページ、1,000円（税込）

お求めはご所属の同友会事務局まで。

**共同求人・社員教育活動のすすめ**

**持続可能な企業と地域のために**

共同求人・社員教育活動のすすめ

第1章 共同求人・社員教育活動の歴史と理念

第2章 中小企業と経営環境

第3章 採用と教育・実践編

第4章 若手社員の声

第5章 同友会におけるキャリア教育

第6章 資料編を収録